

この本を読むみなさんへ

佐賀県は昔、長崎県の本土とともに一つの国を成し「肥前国」と呼ばれていました。佐賀県のように、一つの国の一部だけで都道府県を構成している例は、ほかに首都東京がある「武蔵の国」だけです。

いったい、なぜなのでしょう。

それは、私たちのふるさと佐賀県が特別な存在だからです。
日本の歴史上、この地域がとても大きな役割を果たしてきたから。
そして、ここに住む人たちが佐賀県を心から愛していたから。

この地域は、地理的に大陸に近いことから海外からの人の出入りが多く、古くから最先端の文化の発信地でした。幕末にはその力が開花し、反射炉や三重津海軍所をはじめとした最新の科学技術は明治維新実現の原動力となり、その後の国づくりで活躍する人材を数多く輩出しました。

そうした中で、地域を愛し誇りに思う気持ちは高まり、長崎県の一部となっていた明治 16 年、住民による懸命の復県運動の末、今の佐賀県は誕生したのです。

また、佐賀県では「くんち」や「祭り」、「三夜待ち」^{※1}など地域の人々の絆の強さもあり互いに助け合いながら生活していく風土があります。これら佐賀県の「人」を大切にしてきた歴史や風土は、県民一人ひとりの「想い」や「考え」に根付いており、誇りを持って次世代に繋げていくことが大切です。

さらに、皆さんが普段見慣れている、あるいはそこにあることが当たり前だと思っている佐賀県の「自然」や「食」、「文化・歴史」。そうしたもので、実は、日本だけでなく世界にも自慢できるものがたくさんあります。きっと、その中には、あなたの身近にあって、小学校や中学校での学びの中で、自分にとって親しみ、愛着があるものになっているものもあることでしょう。

現在高校生のあなたには、これから改めて佐賀県について学び、
**「人」を大切にしてきた歴史や風土をたどることで、
佐賀県のことをこれまで以上に誇りに思っほしい**と思います。

この本を読むあなたが起点になって、佐賀県の素晴らしさがいつまでも語り継がれることを心から願っています。

佐賀県教育委員会

※1 神のそばに居て共に夜を明かすこと。
今では、仲間同士が定期的集まり、飲食する親睦会的な機会となっている。

目次



序章 佐賀県の成り立ち 4

第1章 佐賀県の人 11

- 1 佐賀藩の教育と俊才たち 明治維新で活躍した人材を育てた先進的教育 12
- 2 中林梧竹と副島種臣 明治時代に新しい書の内容をもたらし 24
- 3 百武兼行と岡田三郎助 日本洋画界の「日本初」の二人 30
- 4 辰野金吾と曾禰達蔵 日本の建築界を牽引した 36
- 5 志田林三郎 電気技術の礎を築いた 42
- 6 森永太郎と江崎利一 二大お菓子メーカーの創始者は佐賀県から 48
- 7 石井亮一 日本で最初に知的障がい児教育を手がけた 54
- 8 黒田チカ 日本初の女性化学者「紅の博士」 60
- 9 田澤義鋪と下村湖人 日本国民にあるべき人としての姿を示した 66
- ② 知ってる! 譜代大名が次々と藩主になった唐津藩 72

第2章 佐賀県の歴史 73

- 1 佐賀県の祭り 「唐津くんち」「伊万里トンテントン」と「浮立」 74
- 2 唐津・杵島の石炭産業 経済の発展を支えた炭鉱の賑わい 80
- 3 幕末の雄藩佐賀藩と三重津海軍所 他藩に先駆けた近代化事業 86
- 4 やきもの王国佐賀県 やきもの代名詞 唐津焼、磁器の発祥 有田焼 92
- 5 『葉隠』～大慈悲の心で 今も読み継がれ、人としてのあり方を教えてくれる 98
- 6 17世紀の防災と治水 成富兵庫茂安と寺沢広高の防災・治水事業 104
- 7 幻の巨大都市～天下人の城と大名陣屋 日本の政治・経済・文化の一翼を担った 110
- 8 古代山城「基肆城」大宰府の南の守り 116
- 9 『肥前国風土記』と『万葉集』にみる佐賀県 今に伝わる地名の由来や伝説を知るタイムカプセル 122
- 10 考古学上の大発見～東名・菜畑・吉野ヶ里～ 縄文・弥生文化の解明につながる三つの遺跡 128
- ② 知ってる! 佐賀県東部にあった対馬藩田代領で盛んだった売薬 134



第3章 佐賀県の自然 ————— 135

- 1 有明海とラムサール条約 いのちを育む「豊穡の干潟」を守る取り組み ————— 136
- 2 伊万里湾のカプトガニ 市民の力で守られている「生きている化石」 ————— 142
- 3 玄界灘と桉原湿原 数々の景勝に恵まれた海と多様な生き物が息づく湿原 ————— 148
- 4 淡水魚の宝庫 佐賀県 それは地史的な偶然によって生まれ人間の営みによって守られた — 154
- 5 佐賀県の豊かな農畜産物 努力と工夫が産みだしてきた美味しい食材 ————— 160
- ⑥ 知ってる! 盛んだった玄界灘の鯨捕り ————— 166

第4章 佐賀県の今 ————— 167

- 1 佐賀県の遺跡と祭り 今に伝わる佐賀県人の暮らしと心 ————— 168
- 2 佐賀県人の足跡を訪ねて 県内編 ————— 172
- 3 佐賀県人の足跡を訪ねて 県外編 ————— 174
- 4 さがものづくり 伝統を受け継ぎ、新たな技術に挑む佐賀マイスターたち ————— 180
- 5 佐賀県にゆかりの映像と文学 ————— 186
- 6 佐賀県のデータ ————— 192

